

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 3 日作成)

小委員会名	建築音響測定法小委員会	主 査 名：會田 祐 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (音環境運営委員会)	委員長名：秋元 孝之 主 査 名：坂本 慎一
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築音響に関する測定方法について調査および検討を行うことを目的とする。</p> <p>初年度：音響インテンシティ法を用いたフランキング成分、遮音欠損把握への適用に関する共同実験を実施し、測定上の課題や注意点の抽出を行う。</p> <p>2 年度：音響インテンシティ法については、前年度の結果をうけて各測定手法の適用範囲の比較検討、測定上の課題、注意点の検討を実施する。また、新たな取り組みとして、音響数値解析小委と協力し、数値解析を利用した測定法の改善に関する検討をすすめる。</p> <p>3 年度：音響数値解析小委との連携により、数値解析を活用した測定法の課題解決、ならびに実験室測定を通じた数値解析分野への貢献を目指し検討を行う。また、測定法の改善に関しても継続的に検討をすすめる。</p> <p>4 年度：成果のとりまとめを実施し、成果を公表する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：會田祐 (長谷工技研) 幹事：杉江聡 (小林理学研究所)、竹林健一 (鹿島技研) 委員：石塚崇 (清水技研)、稲留康一 (奥村組技研)、小田智弘 (大林組技研)、古賀貴士 (鹿島技研)、小林秀彰 (三井住友技研)、酒巻文彰 (永田音響設計)、坂本慎一 (東大生研)、富来礼次 (大分大)、平川侑 (国総研)、平光厚雄 (建研)、山内崇 (戸田技研)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2022 年度予算	55,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 音響エネルギー密度に関する小委実験結果について、大会および国際会議で発表を行うことにより、活動成果の公表を行った。 2. 室内音場の新たな測定法の提案に向けた実験を行い、基礎データを得た。
委員会活動の問題点 ・課題	1. コロナ禍での共同実験の遂行に伴う調整・対策事項の発生 2. 討議の活性化に向けた小委開催の方式 (Web、対面等)

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2022 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p><u>1. 小委活動成果の公表</u> 前期実施した音響エネルギー密度に関する実験結果について、理論および数値解析との比較を通じた考察を行ったうえで、大会および国際会議 ICA において発表を行った。</p> <p><u>2. 新たな測定法の提案に向けた実験的検討</u> 低音域の室内音場測定に関する問題点を整理したうえで、新たな測定法の提案に向けた実験検証計画を立案した。計画に基づき 2 回の共同実験 (第 1 回:2022/11、第 2 回:2023/2) を行い、従来の室内平均音圧レベル測定、ISO 16283 Low-frequency procedure による測定、および pu センサによる音響エネルギー密度測定の精度について比較検討を行った。</p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。